

## 2. 大気汚染対策

自動車から排出される排気ガスに含まれる汚染物質のために、地球温暖化をはじめ、酸性雨、光化学スモッグなどが発生してしまいます。

当社では、排気ガスによる大気汚染を抑制するために、コンテナターミナル構内で使用されるトラクターヘッド及び駐車場や業務用車両の排気ガス対策に取り組んでいます。また、ターミナル背後のゲート待ち混雑の緩和にも努めていきます。

### 外貨埠頭事業

#### コンテナターミナル

##### 【排気ガス規制適合構内トラクターヘッドの普及】

構内トラクターヘッドの排気ガス規制適合に取り組んでいます。当社では、条例の対象外となるコンテナターミナル構内におけるトラクターヘッド（ディーゼル車）から排出される粒子状物質※削減のため、所有者様の協力を得ながら、粒子状物質等の排出量が少ない車両の普及に努めています。

適合車導入率（3月比較）

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
27.6%	53.3%	74.7%	65.3%

※ 粒子状物質（PM=Particulate Matter）とは  
固体または液体からなる物質をいい、発生源としては工場・事業場から排出されるばいじん、自動車から排出される粒子状物質（PM）などがあります。

粒径10 $\mu$ m以下のものを浮遊粒子状物質（SPM）といい、中でもディーゼル車の排気ガスに含まれる粒子については、以前から発ガン性が疑われています。



トラクターヘッド

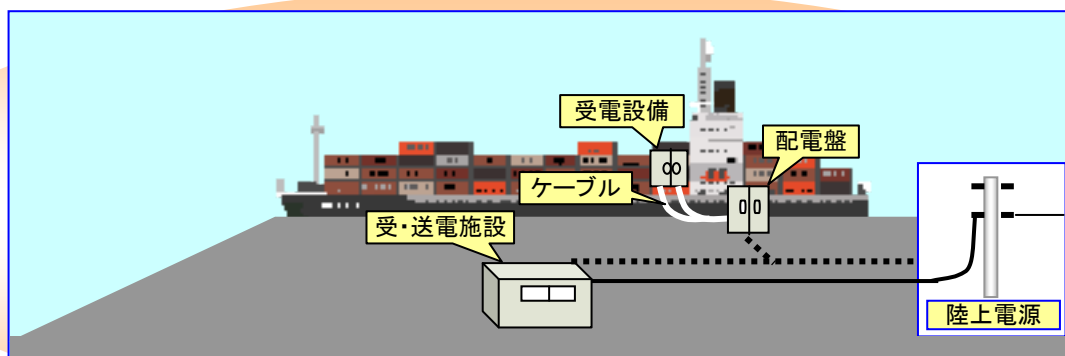
##### 【陸上電力供給の検討】

臨海地域における大気環境の改善を図るため、停泊中の船舶に陸上で発電した電力を供給することで、船舶のエンジンから排出される大気汚染物質を削減する取組みについて調査を進めていきます。

##### ●コンテナターミナルへの導入

大型コンテナ船の分野では、米国ロスアンゼルス港やロングビーチ港など、一部で取組みが始まっていますが、我が国を含めて世界各国の取組みはこれからとなっています。

そのため、船舶設備の設置状況や装備船舶の配船状況等を踏まえつつ、コンテナターミナルの供給電力量の増加に伴うインフラ整備や受電容量の増強、周波数変換装置の整備など、ハード面の課題について検討していきます。



陸上電力供給のイメージ

# 駐車場事業

## 月極駐車場

### 【超低公害車 月極駐車場料金の割引】

東京都が実施している「低公害車に係る有料駐車場料金割引措置」に協力しています。  
当社が管理している月極駐車場において、低公害車への転換を促進するために、超低公害車を対象に割引制度を導入しています。

- 実 施：平成16年4月～  
割 引 率：月額駐車場料金の30%割引  
対 象 車：● 国土交通省認定低排出ガス車のうち  
17年基準75%低減レベル自動車（☆☆☆☆）  
● 天然ガス自動車  
● ハイブリッド自動車  
● 電気自動車  
● メタノール自動車

平成20年4月1日現	平成21年4月1日現	平成22年4月1日現
5.7%	7.1%	9.6%
(87台/1,523台)	(105台/1,477台)	(135台/1,409台)



月極駐車場

# 業務用車両

## 自動車低公害車導入率

●当社使用の自動車は、リース車両を原則とし、リース期間満了時の更新に合わせて、随時低公害車に切り替え導入を図っています。平成22年度の導入実績を報告します。

所管部署	低公害車台数				合計台数
	無	良	優	超	
1 本社				10	10
2 公園事業室	4	1	2	3	10
3 埠頭事業部			4		4
4 建設発生土事務所		1	1	3	5
合 計	4	2	7	16	29

$$\text{低公害車導入率(\%)} = \frac{1/3[(\text{換算率} \times \text{良低公害車台数}) \text{を自動車の種別ごとに計算しその値を合計}] + \dots}{(\text{換算率} \times \text{自動車の使用台数}) \text{を自動車の種別ごとに計算しその値を合計}} \times 100$$

※ 環境確保条例第35条 低公害車の導入 低公害車導入率の計算方法を準用（都内200台以上の使用事業者対象）

低公害車内訳	良	優	超
乗用車			12
小型貨物自動車	2	6	3
普通貨物自動車		1	1
乗合自動車			

平成20年度 導入率	平成21年度 導入	平成22年度 導入
49.4%	61.5%	60.8%